

会報

# 赤い靴

第72号

平成30年 5月10日

発行 NPO法人

横浜音楽協会

代表者 肥後 嘉昭

事務局 TEL045-434-1100

〒222- 港北区菊名 4-3-21

0011 青木ビル ハタ楽器内

## 第25回「よこはまベイサイドコンサート」特集

日時／平成30年2月3日(土) 開演 14:00 会場／かなっくホール

主催／NPO法人 横浜音楽協会

後援／横浜市文化観光局, (公財)横浜市芸術文化振興財団, 神奈川新聞社

横浜市立小学校音楽教育研究会, 横浜市立中学校音楽教育研究会

協賛／(株)ヤマハミュージッククリテリング横浜店, (株)ハマ楽器, (株)シムラ楽器, ハタ楽器(株), (有)旭屋

去る2月3日(土)に、第25回よこはまベイサイドコンサートが、神奈川区民文化センター かなっくホールにて開催されました。土曜日開催ということもあり、多くのお客様が会場に足を運んでくださいました。

今回のプログラムは、ピアノ独奏、ヴァイオリン独奏、クラリネット独奏、ソプラノ独唱の全9ステージで、当音楽協会が主催する横浜新人演奏会出身者や、横浜を拠点に活躍されている音楽家の方々がご出演しました。場内はあたたかい拍手に包まれ素晴らしいコンサートとなりました。

このように素晴らしいコンサートとなりましたのも、ひとえに、ご出演くださった演奏家の皆様の情熱あふれる演奏と、このコンサートをお支えくださった多くの方々のお蔭と心から感謝申し上げます。





## 〜〜 プログラム 〜

- |                                      |   |                        |
|--------------------------------------|---|------------------------|
| 1. 佐々木 麻衣 (ピアノ)                      | 6つの小品OP.118より<br>1.間奏曲 イ短調<br>2.間奏曲 イ長調<br>3.バラード   | ブラームス                  |
| 2. 荒川 野花 (ソプラノ)<br>清水 誠二 (ピアノ)       | からたちの花<br>「マチネ・ポエティック」による<br>4つの歌曲より<br>さくら横ちょう、髪   | 山田 耕筈<br>中田 喜直         |
| 3. 加藤 玲菜 (ソプラノ)<br>漆 間 有 紀 (ピアノ)     | マリンコニーア<br>オペラ「ドンパスクワレ」より<br>あの眼に騎士は<br>愛の神よ、ようこそ   | ベリーニ<br>ドニゼッティ<br>チマーラ |
| 4. 高 橋 美香子 (ピアノ)                     | 前奏曲集第2集より<br>5.ヒースの茂る荒れ地<br>6.風変わりなラヴィーヌ將軍<br>12.花火 | ドビュッシー                 |
| 5. 大江 沙 耶 (ヴァイオリン)<br>藤 島 さつき (ピアノ)  | ヴァイオリンソナタ イ長調<br>第3・4楽章                             | フランク                   |
| ♪♪♪♪♪ 休 憩 ♪♪♪♪♪                      |   |                        |
| 6. 小 倉 裕 貴 (ピアノ)                     | クリオージョ舞踏組曲集   | ヒナステラ                  |
| 7. 神 藤 結 (ソプラノ)<br>富 山 正 成 (ピアノ)     | 花の街<br>オペラ「リゴレット」より<br>慕わしい御名                       | 團 伊玖磨<br>ヴェルディ         |
| 8. 上 野 二 葉 (クラリネット)<br>柿 谷 綾 乃 (ピアノ) | ビゼーの「カルメン」の<br>主題によるファンタジー                          | ローゼンブラット               |
| 9. 伊 藤 和 子 (ソプラノ)<br>田 中 明 子 (ピアノ)   | 愛のささやき<br>オペラ「マクベス」より<br>日の光は衰えて                    | 小林 秀雄<br>ヴェルディ         |
| 10. 大 貫 瑞 季 (ピアノ)                    | 前奏曲集第2巻より<br>1.霧<br>8.水の精<br>12.花火                  | ドビュッシー                 |

## ♪ 出演者のコメント・感想

### 1. 佐々木麻衣 (ピアノ)・欠席

### 2. 荒川野花 (ソプラノ)

普段話しているはずの日本語でも、歌って表現するとなると発音や発声が難しく、声楽の奥深さを感じています。海外オペラだけでなく、美しい日本の歌を学び、広めて生きたいと思っています。今回選んだ曲も美しい日本語とメロディーです。皆さんの体験や思い出に合った情景を思い描いていただけるよう、心をこめて歌いました。

### 3. 加藤玲菜 (ソプラノ)

この度は、素晴らしい機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。私はこのコンサートに初めての出演となりましたが、温かく支えてくださる、「横浜音楽協会」の皆様のお陰で、演奏に集中して楽しんで歌うことができました。

今回は3曲ともイタリア語の歌を歌わせていただきました。それぞれの曲を聞いた事のない人にも、曲のメッセージが伝わるように、そしてお客様の心に残る演奏をすることを目標として準備してきました。今回は、とても集中して演奏することができ、お客様から温かい拍手をいただけたことを感謝申し上げます。

今回の経験を通して、全ての「準備」が演奏に表れることがよくわかりました。本番前までにどのような段取りで、曲に向き合ったらよいかということや、本番前の待ち姿勢などです。以前はとにかく緊張を緩める方法を考え、本番前に他の人とお話などをしていたのですが、静かに待ち、ある程度の緊張感を持って臨んだ方が、自分は集中することができることがわかりました。

4月からは私学の養護学校で勤務する予定ですが、どんなに忙しいときでも、発音や言葉の意味を勉強することや、音楽から作曲家の意図していることを分析することは怠らず、良い音楽を奏でられるように追究し続けていきたいと思えます。そして今まで勉強してきたことを、子供たちに伝えていきたいと考えています。

今回の経験を活かして今後も「準備」を怠らず、今のベストの演奏ができる状況を作れるように努力していきます。

皆様本当に、ありがとうございました。今後ともよろしく願い申し上げます。

### 4. 高橋美香子 (ピアノ)

この度はベイサイドコンサートに出演の機会を頂き、とても嬉しく思います。常に新しい作曲技法を求めたドビュッシーは、様々なキャラクターの作品を残しました。今回は、お洒落で柔らかい作品、お茶目でユーモア溢れる作品、フランスのお祭りを表した輝かしい作品を演奏しました。それぞれのキャラクターの違いをお楽しみ頂けましたでしょうか。

### 5. 大江沙耶 (ヴァイオリン)

フランクのヴァイオリンソナタは大変有名な作品です。この曲は友人のヴァイオリニスト・偉材の結婚式の贈り物とし作曲されました。当日は、3・4楽章を、特に4楽章のピアノとヴァイオリンの掛け合いを楽しんで頂けるよう演奏しました。

### 6. 小倉裕貴 (ピアノ)

ヒナステラはアルゼンチンの作曲家です。今回演奏した曲目は、ヒナステラ初期円熟期の作品です。アルゼンチン由来の民謡のメロディーや一風変わったリズム、独特な和音の響きが特徴的な曲です。他の作曲家にはない、ヒナステラの躍動感に表せるよう演奏しました。

### 7. 神藤 結 (ソプラノ)

「花の街」は作詞者の江間章子が思い描いた幻想の街です。戦後の街の様子から、江間さんの思い描

く美しい花の街に戻ることへの願いが込められています。「慕わしい御名」では、彼の名を思い出すだけで息をするのも忘れてしまうほどの愛を表現しています。2つの美しい愛の旋律をお聴き頂くことができ、大変嬉しいです。

#### 8. 上野二葉 (クラリネット)

カルメンファンタジーはいろいろな編曲をされていますが、今回の編曲はもっとも有名な主題をジャズハーモニーとリズムで作られています。また、曲の冒頭はピアノがとてもかっこ良く、中間部はクラリネットの音色が活かされています。

#### 9. 伊藤和子 (ソプラノ)

この度は、お忙しい中ご来場いただきまして、ありがとうございました。また、何度もお世話になっております、横浜音楽協会の皆さまにも、深く御礼申し上げます。

私の声は、あまり立派な声ではありませんが、年齢を重ね、年相応の役の歌を勉強させていただくようになりました。今回も、ヴェルディのマクベス夫人の役の歌を歌わせていただきました。重い役でしたが、気持ち良く歌わせていただき、感謝申し上げます。また、今回、作詩者のお身内とご縁があり、野上彰さんの作品を沢山勉強し、その中から「愛のささやき」を歌わせていただきました。あまり歌われませんが、皆さまにお聴きいただき幸せでした。

これからも、歌い続けていきたいと思えます。お客様、ご準備いただきました皆様、ありがとうございました。

#### 10. 大貫瑞季 (ピアノ)

フランス印象主義の代表的な作曲家ドビュッシーの前奏曲集より、私のもっとも思い入れのある3曲を選曲しました。まるで水彩画のように繊細で美しい世界を鮮やかに、そして丁寧に表現できるよう一杯演奏しました。

